

浜松医科大学産婦人科研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

現在、静岡県内の専門研修連携施設は21施設あり、静岡県内のほぼすべてのエリアで研修を行うことができます。浜松医科大学産婦人科学教室がコーディネーターとなり研修内容、研修方法を調整いたします。産婦人科には周産期、腫瘍、生殖医療、女性ヘルスケアの4つの大きな柱があります。いずれの施設も症例が豊富で指導者も充実していますので、県内の研修病院における研修と連携することで、産婦人科専門医試験までに産婦人科4分野をくまなく研修し、必要な手術症例数、分娩数などをクリアすることができます。出産、育児を行いながら専門医の取得を目指す女性医師を積極的に支援しています。産婦人科専門医の取得後にはサブスペシャリティの専門医取得、医学博士の取得なども支援いたします。周産期専門医や婦人科腫瘍専門医などのサブスペシャリティの取得において、静岡県立こども病院や静岡がんセンターと連携して取り組んでいます。産婦人科専門医を目指す方は是非、本プログラムに参加し、各自の夢を実現して頂きたいと熱望いたします。



プログラム統括責任者 浜松医科大学 産婦人科 教授 伊東 宏晃

2 目的

浜松医科大学産科婦人科教室では、産婦人科専門医の養成を念頭に置き、日本専門医認定機構の指導の下、専門医資格取得に向けた後期研修プログラムを用意しています。

『専門研修プログラム』では初期研修を終え、産婦人科専攻医として3年間の後期研修を行い、卒後6年目の産婦人科専門医取得を目指していただきます。

初期研修を2年間行った後は、産婦人科医としての臨床の基礎を広く修得するため、周産期、婦人科腫瘍、不妊、女性ヘルスケアの症例を偏りなく研修していただきます。また、原則としてNICUでの研修を経験して頂きます。指導医のサポートの下、主治医として治療に携わり、専門医に必要な知識と経験を習得することを目指していただきます。当研修プログラムは連携施設が多いため、多くの症例を経験していただくことができます。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

(2) 専門研修連携施設 (21施設)

浜松医療センター

聖隷浜松病院

聖隷三方原病院

遠州病院

磐田市立総合病院

中東遠総合医療センター

菊川市立総合病院

藤枝市立総合病院

静岡県立総合病院

静岡厚生病院

静岡市立静岡病院

静岡赤十字病院

俵 IVF クリニック

静岡県立こども病院

静岡済生会病院

富士市立中央病院

富士宮市立病院
静岡がんセンター
聖隷沼津病院

沼津市立病院
伊東市民病院

4 専攻医受入数

専攻医受け入れ上限は年間 15 名

5 研修期間

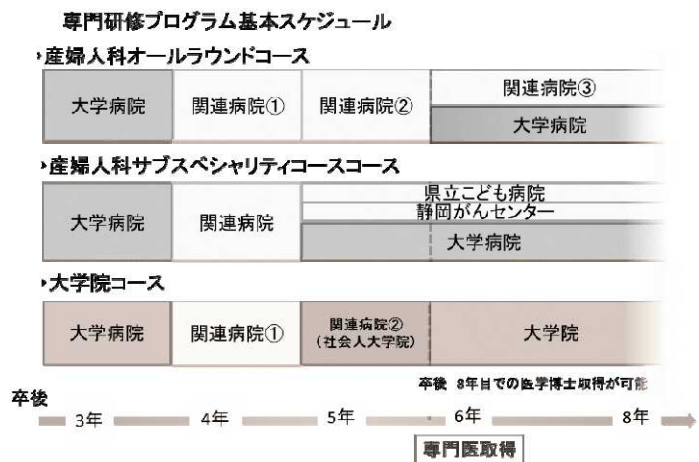
3 年間以上（専門医を取得するまで）

6 研修計画（例）

浜松医科大学産婦人科研修プログラムでは 3 つの研修コースを準備しています。

(1) 産婦人科オールラウンドコース

2 年目（卒後 4 年目）からは研修連携病院群の中から 1～2 つの病院をローテーションします。日本産科婦人科学会専門医を取得し、産婦人科一般を幅広く診療できることを目標にします。手術症例数の多い病院で勤務することが多くなります。産婦人科専門医取得後もこれらの病院で勤務することができます。



(2) 産婦人科サブスペシャリティコース

専門研修 1 年目は大学病院、2 年目は研修関連病院での勤務となり、オールラウンドコースと同様に産婦人科一般の診療を目的とします。専門医取得に必要な症例のほとんどを 2 年間で経験できます。専門研修 3 年目からは浜松医科大学の他にも、周産期専門医取得を目指す場合は静岡こども病院で、婦人科腫瘍専門医取得を目指す場合は静岡がんセンターで研修を行うことも可能です。

(3) 大学院コース

大学院に入学する場合は卒後 6 年目からとなります。大学院生として「自ら考え、試行錯誤の中から創造を目指す」ことで、医師としてのみならず人間として大きく飛躍ことを期待します。また、研究を通じて国内外に広く知己を増やし見識を広めて、生涯役に立つネットワークを作り上げて欲しいと思います

7 問い合わせ先

〒431-3192

静岡県浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

産婦人科学講座 浜松医科大学産婦人科専門研修プログラム

Tell 053-435-2309 FAX 053-435-2308